



会報シルバー

たからづか

第 **139** 号

平成28年5月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797 (81) 7000 FAX. 0797 (81) 7040



安全委員会だより

2月～3月の事故内容

平成28年3月末現在

前年度	平成27年度	損害	傷害
4件	10件	4件	5件

★損害事故1件

●**内容** 一般家庭宅での清掃作業中、掃除機をかけるために屏風を移動させたとき、誤って倒してしまい、屏風が破損してしまっ

●**注意点** 作業中に家財などを移動させるときは、その取扱いは十分に気をつけること。

★傷害事故1件

●**内容** 自転車で就業途中、前方左側からの出庫車両と接触し転倒。右中足骨を骨折した。

●**注意点** 就業などで自転車や原動機付自転車などを使用するときは、周囲の交通状況を確認の上、安全運転を心掛けること。

◆平成27年度

第3回安全講習会

平成28年3月15日(火)、午前10時から、センター3階大会議室で、公園班就業会員を対象に安全講習会を実施し、23名の会員が受講した。

損害事故の発生状況

平成27年度中に公園班で就業中に発生した事故は4件であった。事故内容は、すべて刈払機を操作中の飛び石による車や住宅のガラスなどの破損事故などであった。講習会ではそれぞれの事故の分析とその防止策について、プロジェクターを使って協議・検討を加え、再発防止への意を新たにしました。

増え続ける事故賠償金

始めに、株式会社サンヨー保険事務所取締役社長高橋雅治氏による講演があった。

兵庫県は刈払機作業などによる損害賠償を伴う事故が全国最多であり、損害事故、および、傷害事故による保険金の支払いが多く、県下のシルバー人材センターに対して、保険会社は継続契約を断る

ケースも出てきており、また、新しく保険会社を探すのに苦労している実態が紹介された。

事故が多発すれば当然保険料も高くなり、それだけではなく引受保険会社までもなくなるような事態にならないように、一人ひとりが細心の注意をはらって就業し、今後の事故再発防止を会員みなさんで考えていきましょう。

刈払機を追加導入

機械除草作業中の飛び石による破損事故が減少しない状況が続いていることを受け、飛び石による事故を防ぐため、飛散の少ない刈払機用アタッチメントのカルマーを各公園班に1台ずつ配備をした。その取扱い方法・メンテナンスなどについて有限会社奥田商店の萩原啓介氏を講師に招いて実際に機械に触れながら指導を受けた。



▲カルマーの説明を受ける会員

安全就業の心得

加齢とともに身体の諸々の機能の低下、瞬時の判断力の衰えなど、いやでも受け入れなければならぬ現実がある。いつも「安全就業」を念頭におき事故の当事者にならないように就業しましょう。

(安全委員会)



▲真剣に安全に取り組む

地区・地域班活動

◆地域班総会開催状況

○良元2の2地域班

4月14日(木)、10時～11時、西公民館にて。9名出席。

○宝塚1の2地域班

3月23日(水)、10時～11時

30分、川面会館にて。9名出席。

○宝塚1の3地域班

3月30日(水)、10時～12時、
ピピアめふ6階会議室Cにて。
7名出席。

○宝塚1の4地域班

3月30日(水)、12時30分～
15時、売布会館にて。7名出席。

○長尾1の1地域班

3月29日(火)、10時～12時、
中山台コミュニティセンター
にて。12名出席。

○長尾1の2地域班

4月17日(日)、11時～14時、
サントリー京都工場見学後、キ
ッチンブルーレークにて。15名
出席。

○長尾2の2地域班

4月3日(日)、12時30分～14
時30分、山本野里会館にて。10
名出席。

地域班の活動報告をお待ちし
ています。
広報委員会

互助会活動

◆一喜会ゴルフコンペ

3月4日(金)、新宝塚ゴルフ
クラブで行われた。27年度の最終
コンペということもあり就業によ
る疲れや睡眠不足などものともせ
ず28名の参加者が、晴天のコース
で日頃の腕を競いあった。成績は
次のとおり。

- 優勝 山地純二
- 準優勝 奥原弘士
- 三位 瀬戸内雄次郎

尚、28年度の第1回コンペは
6月2日(木)の予定です。

講習会報告

◆接遇マナー講習会

3月11日(金)、午後2時～4時、
センター3階の大会議室にて、
(株)aim代表取締役米谷侑子氏
を講師にお招きし行われた。

毎回好評を博している講習会で、
今回は「挨拶や言葉遣いの接遇と

コミュニケーションの取り方を中
心としたマナー講習会」の内容で
行われた。

就業に臨む態度、言葉遣い、そ
して第一印象の大切さを実際に体
験しながら自身のマナーを見直し
他人からのアドバイスを得て改善
を考える機会として、予定の20名
を大幅に上回る29名の参加で行
われた。中でも特筆すべきは男性
会員の参加がいつも増して多か
ったことで、いかにシルバー会員
が接遇マナーの大切さを常に意識
して就業しているかを改めて考え
させられた講習会であった。

(広報委員会)

就業先訪問

◆宝塚市立文化施設ソリオ ホール夜間管理業務

今回は、公益財団法人宝塚市文
化財団が運営する市立ソリオホー
ル内の夜間管理業務を紹介する。
阪急宝塚駅・ソリオ1の3階に
ある同館内ではソリオカルチャー
教室を開催しており、書道やバレ
エ、語学、お花、ピアノなどさま
ざまな教室が開かれている。
当シルバー人材センターの就業
内容は、同ホール内での夕方以降
の受付管理業務だ。



▲接遇マナーの大切さを教示



▲ソリオカルチャー教室のスケジュールを確認する就業会員

事務局だより

4月16日(土)夕方、同ホールの事務所を訪問。ここでは現在3名のシルバー会員がローテーションで就業している。業務の内容はソリオ貸会議室等を利用する方の受付管理と、会議室の前準備、そして使用後の後片付けが主な業務。スケジュール表に添って、利用されるサークルの方のために椅子や机などの備品の準備、そして利用後の整理整頓を行っている。蛍光灯が切れたときの入れ替えも業務の一つだ。

いろんな分野の先生方と話しをするのがなかなか楽しいとか。長く利用されている教室の先生とは、つつい長話をすることもあるそうだ。就業会員へ伺うと、『どの分野でも自己研鑽を積んでいる方は魅力がありますね。そうした方々のお手伝いをできるというのはうれしいものです』と、この業務のやりがいを話してくれた。

シルバー人材センターが文化財団の行う、「地域文化活動に資する事業、ならびに地域住民にすぐれた芸術文化を提供する事業」に貢献し、地域文化に寄与していることを知った。

(広報委員/佐野 純)

◆女性の集い

3月29日(火)、センター会議室にて第1回「女性の集い」が開催された。役職員5名、女性会員3名が出席した。

女性部会設置に向けた活動方針、活動内容の提案など、活発な意見交換を行った。

◆定時総会のご案内

平成28年度定時総会が5月27日(金)午後1時より宝塚ホテル(阪急宝塚南口駅下車徒歩1分)にて開催の予定です。

詳細は別途、送付資料にてお知らせいたします。

◆ボランティアにご協力を

当センターでは年間を通して行われる様々な行事にボランティアをお願いしています。残念ながら最近のご協力いただく会員の減少傾向が続いています。

ご無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

◆花と緑のフェスティバル

4月23日(土)・24日(日)、末広中央公園にて開催された「花と緑のフェスティバル」に当センターでは事業開拓委員によるチラシ配布、独自事業の手芸品やEMボカシの販売を行った。



▲事業開拓員がチラシを配布しセンター事業をPR

◆会員の状況

(入退会者と会員のおくやみは2月～3月末、その他は1月末)

会員数	1175人
入会数	29名
退会者	101名
平均年齢	72.2歳

会員のおくやみ	
波多野ツルエ	69歳
鉄谷 高久	76歳

☆お願い

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようにお願いします。

☆チラシ配布就業会員募集

事務局では、チラシなどの配布ができる方を随時募集しています。就業可能な方は事務局に「希望会員アンケート」を備えていただきますので、事務局窓口までお越しください。

配 分 金

支払い日のお知らせ

5月就業分	6月15日(水)
6月就業分	7月15日(金)
7月就業分	8月15日(月)

本ページは非公開のため削除しました。

会員のひろば

川柳

幼子の祈る姿に笑みこぼれ

♥道原 澄子

川下り景色が歌う春になり

♥富吉 博彦

仮病にもお大事にして電話切り

♥織山 茂

俳句

山笑う椿の花を揺らす風

♥川嶋 兼雄

柑橘の葉っぱ食べ終え蝶の舞い

♥園田 昌代

咲きのぼり先の先まで立葵

♥中嶋 諒子

新緑に心洗われ鐘を打つ

♥西口 佐代子

風やみて空の窪地へしゃぼん玉

♥橋本 千津子

葉桜や惜しい人逝く夕まぐれ

♥羽山 淳子

はらはらと常磐木落葉心淋し

♥丸山 長資

編集後記

最近、医療の分野で言われている2025年問題というのがある。この年には団塊の世代が75歳を迎え、75歳以上の割合が現在の12%から18%に上がる。このままでは医療を受けられないお年寄りが続出しかねないため、厚労省は地元での「かかりつけ医」の普及を目指している。人数が多すぎるので、大きな病院へは来ずに近所の「かかりつけ医」で治療してほしいということらしい。

振り返ってみると、団塊の世代は戦後日本のお騒がせ世代でもあった。思いつくだけでも大学受験ブーム、ニューファミリーブーム、住宅ブームなど。なにしろ人数が多いので、何か行動するとすぐにブームになってしまう。でも団塊の世代以外の皆さん、安心してください。もう今度で最後です。それは、「終活ブーム」だ。大きな人口の塊が、いよいよ最終章を迎える。その一人としては、ただ穏やかに静かにその時を迎えたいと思う、今日この頃だ。

(広報委員/佐野 純)

日常でお困りのことはシルバーにご相談ください。

高齢者の知識と経験を活かして、様々な仕事をお引き受けしています。依頼内容によっては対応できない仕事もありますので、まずお電話でお問い合わせください。TEL 0797(81)7000

- ・家事援助サービス 室内清掃、窓ガラス・網戸などの清掃、食事の支度・洗濯、お部屋内の片付けや衣替え、ゴミステーションの掃除、買い物など
- ・子育て支援サービス お子様とお留守番、子どもの一時預かり、シルバー出前サービス
- ・お庭の手入れ 植木剪定・施肥、植木の水やり、雑草刈り(機械・手刈り)
- ・家屋の手入れ 網戸の張替、障子・襖の張替、簡易な大工仕事・塗装など
- ・事務サービス あて名・賞状書き、ワープロなどでの原稿づくり、パソコン操作指導など

センター会員募集 就業などを通じて社会参加しませんか？

シルバー人材センターの会員になるには

◎会員の条件

宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日13時より開催していますので、事前に予約の上参加してください。

入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話でお問い合わせください。